



(2) 指導過程におけるOHPの活用法

(1)でOHPの指導計画への位置づけを述べたが、つぎに指導過程に即して、どこで、どのような内容のものを、どのような方法で利用するかを計画しなければならない。

このような指導過程への位置づけは、教科の特質により異なるし、学習内容によってもことなる。また、同じ資料(TP等)を提示するときと、導入で利用するときと展開で利用するとき、まとめて利用する場合では異なる。そこで、OHPの指導過程への位置づけの定形のパターンはなく、実態に応じて最良と思われる利用のしかたをし、目的に応じた効果をあげることが望まれる。

つぎに、一般的に用いられている指導過程に即した活用例を示し、2では各教科、道徳、特別活動での活用例を示したので、これらを参考にしてOHPの指導過程への位置づけを試みてほしい。